

他の研究室も  
覗いてみました!



もともと難民問題に関心があったゼミ生の三田さんは、学生団体「STARs」を設立。社会問題の認知啓発活動に取り組んでいます。

研究内容を  
紹介します!

## ホームレス支援における 支援者と被支援者の関係性

長崎市内で生活困窮者への支援活動を行っている「長崎ホームレスを支援する会」。佐藤さんは1年以上にわたって会の活動に参加し、インタビュー調査を行いながら、支援者と被支援者の関係と役割を研究しています。「大学で学んだ理論について調査結果を落とし込みがちですが、現場で得た情報や体験を大切にすることを細田先生から教わりました」。



主な活動内容は、生活困窮者に対するお弁当の配布。実際の活動に密着し支援者と被支援者から話を聞くことで、両者の関係性を探ります。



多文化社会学部 4年  
佐藤大樹さん

## 細田研究室

文化人類学が専門。ゼミでは異文化やコミュニティに入り込んで観察やインタビューを行うエスノグラフィを用いて、ミクロな視点から調査。学生ごとにテーマは多種多様で、互いに意見を交わしながら、多角的に調査内容を分析します。「学生自身が引き付けられるテーマを追求することが大事」と話す細田尚美先生。ゼミには活発な学生が多く、自らの問題意識をそれぞれの研究や活動につなげています。

## ネパール人留学生の生活と 日本での就労環境について

インド料理店でアルバイトをしている三田さん。ゼミ活動の一環で、店舗のネパール人スタッフにインタビュー調査を行ったことから現在の研究テーマにつながりました。「調査を通して、日本で暮らす外国人の方も同じ生活者なんだと強く実感しました。日本でどう働いて暮らしていくのか。留学生からもリアルな実情を聞いて自分ごととして考えたいです」。



英語を駆使しながらネパール人スタッフにインタビュー。「選挙権もなく自由に生き方を選べない」という話が印象的だったそう。



多文化社会学部 4年  
三田万理子さん